

ししよまろはんと図書館総合展

～チャレンジししよまろはん～

ししよまろはんとは



京都府立図書館内の有志（正職員・非正規問わず）で結成された自主学習グループ。
2013年6月に活動を開始。



興味のあることには何でもチャレンジ!

「楽しんでやろう!」

「とりあえず、やってみよう!」

「反逆の精神」

などをモットーに活動中!

業務時間外に活動し、やりたいことをやりたい人がやるスタイル。

メンバーそれぞれの「好き」や「得意」を活かしつつ、

図書館や本の周辺を楽しみながら楽しくしていく活動をしています!



ししよまろはんと図書館総合展



図書館総合展とは、毎年秋に開催される図書館界最大のコンベンション
多彩なフォーラムやイベント・ブース展示などが行われ、館種を超えて多くの図書館員が集う、
発表・研鑽・交流の場となっています。

2019年までは、パシフィコ横浜を会場に3日間の会期で開催されてきた図書館総合展。
コロナ禍の2020年からは1か月のオンライン開催になり、2021年からはオンラインに加え
各地にサテライト会場を設定したハイブリッド開催に。



ししよまろはんでは、結成以後、さまざまな形で図書館総合展に参加。

「チャレンジししよまろはん」

をキーワードに、毎回何か新しいことにチャレンジすることを目標にしています。

そして2022年は「サテライト会場」にチャレンジします!



ししまろはんの活動・取り組み内容

—図書館司書の視点から、本の世界を楽しむための情報を発信—

【1】独自のオープンデータの作成・公開

京都や本、そして図書館に関連のある事柄を、オープンデータとして公開。

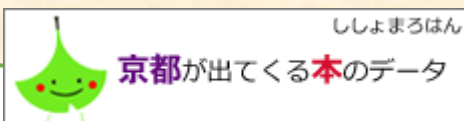
【オープンデータ】とは…機械判読に適したデータ形式で、再利用・再配布が可能な利用ルールで公開されたデータ

ししまろはんでは、LinkData.org のサイトで、クリエイティブ・コモンズライセンス CC-BY (「ししまろはん」のクレジット表示で自由に利用可) で提供しています。

オープンデータの意義や楽しさを親しみやすい音楽と映像で表した作品「オープンデータのうた」もオープンデータとして公開。

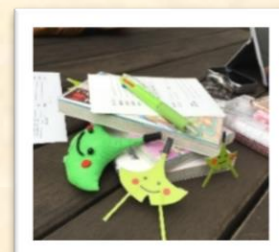


① 「京都が出てくる本のデータ」



(作成:2014.2.24 最終更新:2022.9.26 データ件数:469 件)

- ・京都が出てくる本(小説・ラノベ・マンガ等)のデータを集めてオープンデータとして公開
- ・書誌情報(本に関する情報)や、内容紹介、京都度、おすすめ度付き
- ・作品に出てくる京都スポット(1冊につき1か所)の位置情報を付与しているので聖地巡礼にも!



展開・成果

- ・派生オープンデータ作品「京都が出てくる山村美紗作品データ」作成。
- ・京都府立図書館の展示「聖地巡礼～舞台は京都岡崎～」に協力。「本に出てくる京都・岡崎 Map」を作成。(2019.9)
- ・公開後すぐに web メディアに取り上げられるなど話題に。
- ・まち歩きアプリのコンテンツに採用。
- ・『京都新聞』(2014.3.28 朝刊 p20)などで活動が紹介。
- ・LOD チャレンジ 2014 データセット部門 **最優秀賞** 受賞!!



②「図書館員が調べた京都のギモン～京都レファレンスマップ～」



しよまろはん

図書館員が調べた**京都のギモン**
～京都レファレンスマップ～



(作成:2014.6.22 最終更新:2022.9.9 データ件数:300件)

国立国会図書館のレファレンス協同データベース(レファ協)の中から、京都に関するレファレンス事例をピックアップし、該当する地名や位置情報などを付与して、オープンデータとして公開。



地域に関する事例に位置情報を付けて公開することで、地図上にレファレンス事例が表示され、新しい形での可視化となった。

展開・成果

第5回図書館レファレンス大賞(第21回図書館総合展、2019)にて、

「オープンデータ「京都レファレンスマップ」」が、**奨励賞**受賞!



③「本に出てくる京都の美味しいもののデータ(たべまろはん)」



(開始:2016.9 最終更新:2022.9.28 データ件数:202件)

本(小説やマンガなど)に出てくる京都の实在のメニュー・食品について、本に関する情報・お店の情報(位置情報やリンク)・食べ物に関する情報(感想や画像)を結びつけて、オープンデータとして公開したもの。



展開・成果

・データからピックアップしたものを『たべまろはんブック』(～Vol.5)として発行。

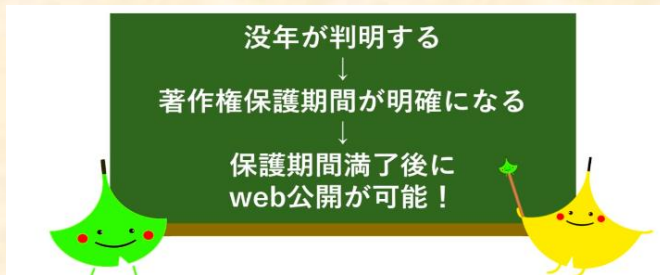
『たべまろはんブック』は図書館総合展内の企画「としよけっと」でも頒布。

・活動を楽しく伝える動画「たべまろはんマーチ」をYouTubeで公開。



【2】「没年調査ソ」等のイベント開催

2016年にスタートした、没年不詳の著者の没年を調べに調べるワークショップ
「没年調査」+「ソ」⇒マラソンのように黙々とひたすらに調査しよう!と誕生した造語。



- ・地域の図書館の資料が没年調査に役に立つ
- ・調べたことがいつか誰かの役に立つかもしれない
- ・先人が遺した文化遺産をひろく共有できる可能性を開く

➔ 評判になり、じわじわと人気のイベントに。



展開・成果

- ・福井県や神奈川県でも没年調査ソが開催され、活動の輪が広がる。
- ・2020年からは図書館総合展内の企画としてオンライン&リモートで開催。
- ・活動をわかりやすく伝える動画「没年調査ソのワルツ」をYouTubeで公開。
- ・LOD チャレンジ 2016 で「**オープンサイエンス賞**」を受賞!



【3】キャラクターたちの活躍

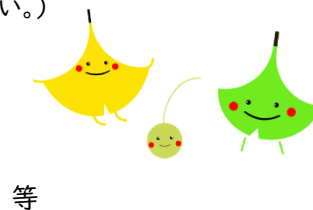
ししょー (円熟した黄金色のイチョウ。明治生まれで物知り。小さな声でアドバイス。)

まろー (元気いっぱい若葉のまろー。14歳。食欲旺盛・好奇心旺盛。)

ぎんなん坊や (生まれたてのぎんなん。まだあまり知られていない。)

の3名(3体)がメンバーと一緒に活躍中。主な活動として、

- ・SNS (Twitter・Instagram 等) の更新 (主にまろー)
- ・YouTube 動画、LINE スタンプ、各種グッズへの登場・出演
- ・ししょまろはん作成のスライド・資料等への出演



展開・成果

- ・図書館キャラクター・グランプリ(図書館総合展内企画)では毎回受賞。2019年の第5回図書館キャラクター・グランプリではウェブ応援賞「**最優秀賞**」受賞。
- ・図書館キャラクターたちの懇親会「図書館キャラクター☆ナイト」を企画・幹事。(2017、2018、2019年の図書館総合展で開催)。
- ・まろー著「ししょまろはん」と図書館キャラクター・グランプリ」が『みんなの図書館』488号(2017年12月号)に掲載。



これからも、興味をもったことにはどんどんチャレンジしていきます!

次は、横浜でお会いしましょう!